

まちなきこり人育成講座第2回 オプショナルツアー

春日山原始林 散策

作成 清水 環 2011年10月5日



1. 開催場所 : 奈良県春日山原始林、柳生街道
2. 開催日 : 2011年9月10日(土)
3. 会 員 : 蒲田、松永、高崎、高崎、南条、大石、瀧口、瀧口、清水、
講座参加者 : 山田、山田

4. 内容

春日山原始林は、1000年以上前から狩猟や伐採を禁じられてきました。従ってその「森林の植生的な価値は当然ですが、立地条件と歴史ストーリー的な魅力も持ち合わせています。それでいながら自家用車の乗り入れも許容し、市中心から短時間で到達できる、多くの魅力を持ったスポット」です。オススメいただいた 杉プランニング岡安氏には、「五感を使って熟度の高い森林を味わってきてください」と観察視点のポイントをいただきました。



自転車乗りも団体ランナーも
かけぬける・・・。

① 太陽光を巡っての静かな空間占有バトル

- ・ 上層高木・中層高木・低層地被・着生生物(寄生樹木)のすみわけ
- ・ 一般的に樹木の密度は20~30万本/haと言われるが、ここでは1万本/haくらい?



上のほうで枝を広げている



モミジですよモミジ! 写真で見たら大きさは実感ないですが、歩いている人と見比べてみてください。



ツルさええ大木に。



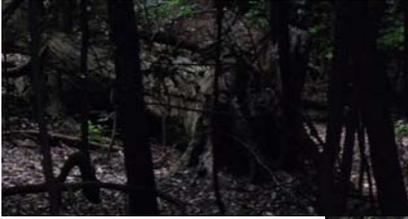
ウロの中にも実生樹。



谷はどこも混沌としていた。
倒れたり起き上がったたり。
大きいのも小さいのもの。

② 原生林のドラマ「ギャップ」

- ・ ドラマチックな上層高木の倒木 → 森林の風穴（ギャップ）が存在
- ・ 半世紀単位の、上層の変化に伴うゆっくりとした下層（林床）植生の変化



折れて、根元から数メートル離れて倒れる木。実際はとても大きい。



秀吉の植えた杉？今でもズドドドーン！と倒れた時の音が聞こえてきそうなどてつもなく大きい倒木。倒木の形そのまま光が差し込み、周囲でせつせと成長する木。



若い針葉樹も、ここではこんもりとしてなんだかカワイイ。



大木の、株だけ残った周囲を幼樹がおおう。



③ 林床の落葉、枝条の堆積

- ・ 谷筋の土壌は堆積している、尾根先は浅いかどうか
- ・ 落葉樹より照葉樹の落葉のほうが分解が遅く脱硫量も少なく、有機質に富んだ堆積層があるはず



歩道に流れてきて溜まった落ち葉や土。ふかふか〜。



人工林の急斜面ではよく斜めに出た幹が「よっこいしょ！」と真上目指して立ち上がって踏ん張っている根をみかけますが、なぜこの根っこはみなまっすぐに出ているの？

④ その他

- ・ 禁伐のはずの原始林で伐採した豊臣秀吉。その後 10000 本の杉苗を植林したらしい。

視点をいただいたおかげで、ただ「行って来た」よりずっと注意深く観察することができました。岡安さん、ありがとうございました。